

もりやま景況調査

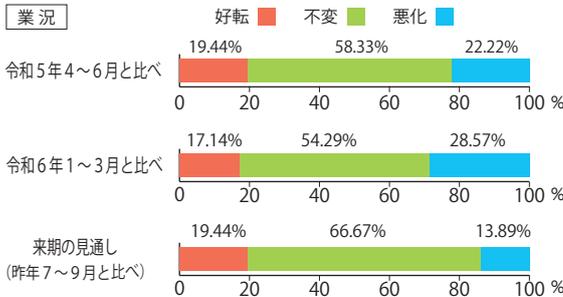
令和6年4月～6月期

※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上 	10 以上 30 未満 	▲ 10 以上 10 未満 	▲ 30 以上 ▲ 10 未満 	▲ 30 未満 
-------	---	--	--	--	---

業況

前回調査 (令和6年1月～3月期) と比べて改善している。来季もやや改善の見通し。

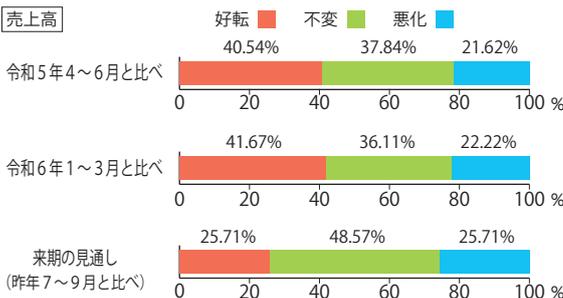


業種	DI 変動	状況アイコン
全体	▲ 2.8	
小売業	▲ 33.3	
製造業	16.7	
建設業	12.5	
サービス業	0.0	
卸売業	0.0	

※業況DI (好転－悪化) は今期が▲2.8で前回調査の▲25.0から22.2ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は5.6で、今期より8.4ポイント改善の見通し

売上高

前回調査 (令和6年1月～3月期) と比べて改善している。来季は悪化の見通し。

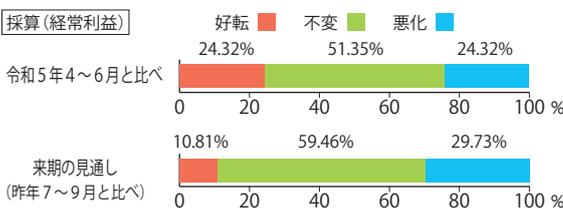


業種	DI 変動	状況アイコン
全体	18.9	
小売業	▲ 10.0	
製造業	33.3	
建設業	75.0	
サービス業	▲ 20.0	
卸売業	66.7	

※売上高DI (好転－悪化) は今期が18.9で前回調査の▲17.1から36.0ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は0.0で、今期より18.9ポイント悪化の見通し

採算(経常利益)

前回調査 (令和6年1月～3月期) と比べて改善している。来季は悪化の見通し。



業種	DI 変動	状況アイコン
全体	0.0	
小売業	▲ 40.0	
製造業	0.0	
建設業	50.0	
サービス業	0.0	
卸売業	0.0	

※採算(経常利益) DI (好転－悪化) は今期が0.0で前回調査の▲30.6から30.6ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲18.9で、今期より18.9ポイント悪化の見通し

物価高騰の影響などに対する意見

- ・インバウンドの観光需要に沿った物価になりつつあり、国内価格がインバウンドによって上昇している気がする。(小売)
- ・インバウンドに潤う都市部地域から外れた地域は物価上昇、諸税高騰、消費購買の方向転換で売上は伸びず経費のみが高くなってゆくジレンマがある。打つ手のない時代になった。(小売)

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。
<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

